

有志舎の新刊です。2020年6月下旬刊行

改訂新版 異郷と故郷

—近代ドイツとルール・ポーランド人—

伊藤定良 著

四六判・ハードカバー・320ページ 本体価格 2,800円

ドイツのなかのポーランド人／日本のなかの朝鮮人。

差別と排外・偏見の歴史を知り反省することで、それを乗り越え、共生への道を模索する。

旧版に加筆・修正を施した「改訂新版」の刊行！

(目次)

プロローグ

第一章 異郷と故郷

第二章 ルール・ポーランド人とポーランド・ナショナリズム

第三章 ドイツ政治とルール・ポーランド人

第四章 「ポーランドの脅威」と民族政策の展開

第五章 ルール・ポーランド人の運動と第一次世界大戦

エピローグ

〈著者紹介〉

伊藤定良 (いとう さだよし) : 青山学院大学名誉教授、ドイツ近代史専攻

～版元から～ 18世紀末、ポーランドは列強に分割され地図から姿を消しました。ポーランド西部はドイツに編入され、その東部国境地域に住んでいたポーランド人の一部は、生活のためにドイツ西部のルール工業地帯に移住していきました。これがルール・ポーランド人です。しかし、新天地での生活はあまりにも過酷でした。「ポーランド野郎」として偏見・蔑視にさらされ、それから逃れるべくやむなく改姓という選択を行う人も現れる一方、ポーランド人としての一体性を求めて民族運動も活発化します。しかし、それとともに政府による支配と抑圧も強まっていきました。異郷の地で生きざるを得なかったポーランド人の姿を描き、日本社会における在日朝鮮人への視線をもふまえ、マイノリティから国民国家と民族の問題を考えます。現代的な視点から、東大出版会刊行の旧版に加筆・修正を施した「改訂新版」の刊行。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	改訂新版 異郷と故郷 —近代ドイツとルール・ポーランド人— 伊藤定良 著	ドイツ史(近代)
	ご担当	四六判・ハードカバー、320ページ 本体価格 2,800円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN 978-4-908672-40-8 C1022	

ご注文は (株)JRC(人文・社会科学書流通センター)へ

返品条件付注文です。

FAX: 03-3294-2177

電話: 03-5283-2230